

4.15
wed

地域の文化を残すために

津古八龍神社の絵馬を修復

津古八龍神社の天井絵馬を修復する作業が、埋蔵文化財調査センターで行われました。

神社建設委員会委員長の佐々木康夫さんの呼びかけで、津古ふるさと会や絵手紙サークルなど地元の方々がボランティアで集まり、今回は130枚中20枚が修復されました。

修復作業はまず、はけで表面のほこりを払い、次に水で濡らした綿棒で丁寧に汚れを取っていき、最後に顔料がはがれないようににかわを塗るという3つの工程で行なわれました。

参加者は「貴重な体験をした。この修復でまた何十年と残ってくれたらうれしい」と話されました。



花畑で過ごす春の休日

味坂ポピーまつり

5.9
sat

5.10
sun

味坂ポピー園(光行)で味坂ポピーまつり(味坂21の会主催)が開催され、多くの家族連れなどでにぎわいました。ポピー約100万本、ルピナス約7,000株が農地いっぱいに広がり、訪れた人たちの目を楽しませていました。

会場では、手作りのお弁当や旬の野菜などの出店もあり、満開となったポピーとルピナスに囲まれながら食事をする人も多く見られました。



私たちの人権宣言～スマホ・ケータイ版～

宝城中学校生徒会 市長・教育委員会へ報告

5.18
mon

宝城中学校生徒会(生徒数114人、会長 西竜廣さん)は、スマートフォンや携帯電話を使ったSNS(ソーシャルネットワークサービス)、メールの使用について「私たちの人権宣言～スマホ・ケータイ版～」を作成し、5月1日の生徒総会で決議しました。

同生徒会は、社会的問題となっているSNSなどが原因のいじめや中傷、暴力などのトラブルについて考え、自分自身や仲間、かけがえのない命を大切にしたいとの思いから、この取組みを始めました。

まず、全生徒へのアンケートを行い、スマホ・ケータイで「困ったことがある」や「何らかのルールを定めた方がいい」というアンケート結果から、生徒自らで考え、話し合いながら作成しました。

生徒会長の西さんは「宣言を自分たちだけで作り上げるのは大変だったけれども、多くの協力があり、まとめることができた。今後は、みんなで守るように取り組んでいきたい」と話しました。

宣言文は宝城中学校の全生徒の保護者へ配付されており、今後、生徒会では校区の「人権のまちづくり」の活動などで発信していくようにしています。



▲報告する宝城中生徒会役員の皆さん

わたしたちの人権宣言 【スマホ・ケータイ版】(一部抜粋)

- 1 夜10時までにやりとりをやめます
- 2 相手のことを考えて言葉を選びます
- 3 個人情報を守ります
- 4 自分の言動に責任を持ちます
- 5 「宣言」を守るために互いを助け合います